

2018年度

名古屋学院大学 履修証明プログラム

まちづくり 新修プログラム

受講生募集！

まちづくり新修プログラムとは？

本学は2013年度より「地（知）の拠点整備事業」（大学COC事業）に取り組んでおり、地域の活力を取り戻し、持続性の高い地域づくりを図るため、「**地域商業**」「**歴史観光**」「**減災福祉**」の3つの視点からまちづくりを進めています。

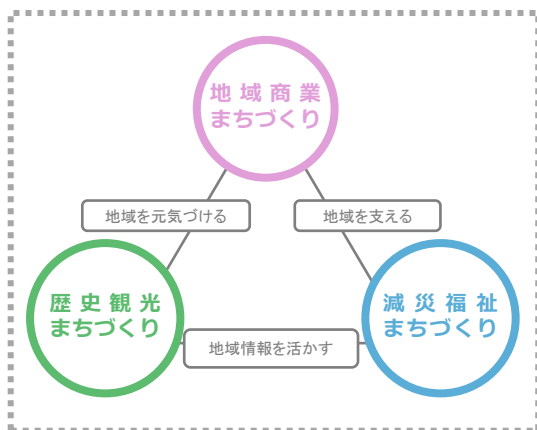
本プログラムは、その「まちづくり」に関連した授業科目を体系的に編成して受講生の皆さまへ提供することで、より積極的な社会貢献を図ることを目的としています。

「地域の経済を元気にしたい」「まちの歴史を深く知りたい」「災害に強い地域にしたい」など、まちづくりに興味がある方はぜひご参加ください！このプログラムで共に学び、一緒に地域を盛り上げましょう！

履修証明プログラム

社会人など学生以外の方を対象としたプログラム。120時間以上の一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、終了した者に大学が「履修証明書」を交付するものです。大学の学位に比べて、より短期的に修得することが可能です。

「3つのまちづくり」とは？



地域商業まちづくり

これまでの商学連携の取組の進化に加え、新しいビジネスチャンス
の創造など、本学の強みを活かし、地域の商業を活性化させます。

歴史観光まちづくり

地域固有の歴史的資源を発掘し、地域の歴史や文化への理解と
地域愛を育み、地域資源の活用方法を考えます。

減災福祉まちづくり

今後発生が予想される災害に対し、被害を最小限に減らす「減災」
という考え方に福祉的視点を取り入れ、「災害に強いまちづくり」
を目指します。

プログラム概要

定員

5名

時間割

1時限 9:10~10:40 2時限 10:55~12:25

3時限 13:20~14:50 4時限 15:05~16:35

授業場所

名古屋キャンパス

5時限 16:45~18:15

修了要件

履修期間を連続する2年とし、期間内に対象科目のうち6科目（135時間相当）以上を履修した場合に、履修証明プログラムの修了者として学長名の「履修証明書」を交付します。

修了のためには、NGU教養スタンダード科目の「地域商業」「歴史観光」「減災福祉」の3つの「まちづくり」から1つの分野を選択し、その分野に関する「まちづくり学」と「まちづくり演習」の2科目を含む合計6科目を履修する必要があります。

※1つの科目で春と秋に開講される科目について、両方を履修した場合でも、1科目の履修とみなします。

※上級まちづくり演習は、「地域商業」「歴史観光」「減災福祉」の3つの「まちづくり」分野のうち、1つの分野に関する「まちづくり学」と「まちづくり演習」の2科目を履修した方が翌年度に履修することができます。

2018年度 開講科目一覧

NGU教養スタンダード科目

科目名	学期	曜日・時限	時間数
地域商業まちづくり学	春	月2限	22.5
歴史観光まちづくり学	春	水2限	22.5
	秋	水1限	22.5
減災福祉まちづくり学	春	木3限	22.5
	秋	水3限	22.5
地域商業まちづくり演習	秋	月2限	22.5
歴史観光まちづくり演習	春	火2限	22.5
	秋	水2限	22.5
減災福祉まちづくり演習	春	水3限	22.5
	秋	木3限	22.5
上級まちづくり演習 (歴史観光)	秋	月3限	22.5
上級まちづくり演習 (減災福祉)	春	水4限	22.5

現代社会学部専門科目

科目名	学期	曜日・時限	時間数
社会政策論	春	水1限	22.5
名古屋都市論	秋	木2限	22.5

講義の詳細は本学ホームページに掲載のシラバス（講義・演習の大まかな学習計画）をご覧ください。

※シラバスの内容等については諸般の事情により変更となる場合があります。

講義概要（一部抜粋）

地域商業まちづくり演習

担当教員 | 水野 晶夫（現代社会学部 教授）

地域商業とそれに関連する地域コミュニティを対象として、演習形式で、地域商業の活性化の方向性や社会的意義の基本的理解を得るとともに、フィールドワークやプレゼンテーションなどの機会を持ち、実践力を養います。

「あつた宮宿会」との連携事業や、名古屋におけるフェアトレードタウンの推進活動を行っています。



歴史観光まちづくり演習

担当教員 | 田中 智麻（経済学部 講師）

受講者自ら名古屋の地域資源の活用を考えます。食、まち並み、産業、文化など身近な地域資源を見学し、大学周辺の観光資源（熱田、堀川）の歴史や文化への理解を深め、訪問客に向けた熱田紹介プレゼンテーションを考えます。また、地域で開催されるイベントの運営サポートや名古屋国際会議場との連携事業を通して、来訪者を迎える地域のホスピタリティを考え、実践します。



減災福祉まちづくり演習

担当教員 | 澤田 景子（経済学部 講師）

「避難所生活」について考えます。避難所をめぐる人々には、「被災した市民」という立場もあれば、「(被災者でありながら)避難所を運営する立場」もあれば、「ボランティア」もあります。このすべてについての立場について、想像力を養い、実際の行動へとつなげることが、この授業のねらいです。自分たちのとりうる／とるべき行動について、ディスカッションや調査、体験等を通じて学んでいきましょう。



名古屋都市論

担当教員 | 井澤 知旦（現代社会学部 教授）

私たちの名古屋学院大学が立地する「名古屋」をとりあげて、どのように都市空間が形成されてきたのか、都市文化はどのようにつくられていったのか、また発展の推進力となる都市産業の歴史を踏まえながら、名古屋の発展要因または衰退要因について、理解を深めます。名古屋がどういう都市なのかを知ることで、これからの都市のあり方を考えることができるようになります。



履修モデル

“災害に強いまち”のために！減災福祉まちづくりコース

1年目 履修科目

(春)減災福祉まちづくり学
(春)名古屋都市論
(秋)減災福祉まちづくり演習



2年目 履修科目

(春)上級まちづくり演習
(春)歴史観光まちづくり学
(秋)社会政策論



履修証明書
交付

修了生の声

学生に戻った気分で学ぶことができました。
演習科目では学生とともに学外に出ることもあるし、毎回の出席や試験も大変でしたが、どの授業も先生の工夫を感じられる授業で、楽しんで“まちづくり”を学べました！



2016年度修了生 Aさん

募集要項

対象者

高校を卒業された方、または同等の学力があると認められる方。
外国人の方は、上記に加え、日本留学試験を受験している方、科目等履修期間中の在留資格が保障されている方。

受付期間

2018年3月1日(木)～2018年3月8日(木)必着

提出書類

1. 科目等履修願（所定用紙）
2. 履歴書（所定用紙）
3. 最終学校の卒業証明書（または卒業証書の写し）
4. 履修証明プログラム履修願（所定用紙）

※本年度本学卒業見込み者もしくは継続の場合履歴書及び卒業証明書は必要ありません。

※本学卒業生の場合卒業証明書は必要ありません。

※1. 2. 4は、本学ホームページよりダウンロードください。

提出方法

社会連携センター窓口へご持参いただくか、郵送にてお申込みください。

登録料

10,000円（初回時のみ）

履修料

2単位 20,000円

- ・適切な授業運営のため、応募者が多数の場合は本学にて抽選とさせていただきます。
- ・本学都合により、開講科目の曜日時限が変更になる場合がございます。
- ・本学学生の履修人数により閉講になる場合もございます。
- ・履修可否につきましては3月下旬に郵送で送付させていただきます。

お問い合わせ

名古屋学院大学 社会連携センター

TEL：052-678-4085 E-mail：renkei@ngu.ac.jp

詳しくは

NGU 履修証明プログラム

検索